

社会福祉法人二人同心会

ポートピア保育園

(創立) 昭和57年4月1日
(園長) ^{にしたい}西 躰 ^{みちこ}通子

〒650-0046
神戸市中央区港島中町3-2-8
078-302-1234 fax078-302-2941
Email portpia@hoiku-kobe.or.jp
portpia@themis.ocn.ne.jp



施設構造 鉄筋コンクリート造瓦葺2階建
敷地面積 2,000㎡(うち園庭 690.68㎡)
延床面積 1,484.09㎡ (保育室床暖房設置)
児童定員 210名

職員構成 園長・保育士27名・栄養士・調理員3名
事務員1名
その他(保育・調理補助職員)12名
嘱託医(内科・歯科)3名
健診医(眼科・耳鼻咽喉科)2名

休園日 日曜・国民の休日および祝日
年末年始・その他、災害発生など非常の時

保育時間 7:00～19:00
特例保育時間、延長保育時間
保護者の勤務時間などにより通常時間内にお子さんの送り迎えができない方のために実施しています。園長の承認が必要です。

7:00 7:30 8:00 17:30 18:00 19:00

延長保育 時間	特例保育 時間	通常保育時間	特例保育 時間	延長保育 時間
------------	------------	--------	------------	------------

通常保育料以外の費用 独立行政法人日本スポーツ振興センター掛金(240円)・幼児主食費(2,000円)など

保健衛生 嘱託医により 定期健康診断(2回/年)
歯科検診(1回/年 4・5歳児のみ2回/年)
検診医により 眼科検診(4・5歳児)・耳鼻科検診(4・5歳児)
尿検査・ぎょう虫卵検査・身体計測(毎月)も行います
フッ素化物洗口(4・5歳児)



保育事業 育児相談・ふれあい保育(地域のおとしより・在宅の親子)・子育てひろば(2回/月)

家庭との連携

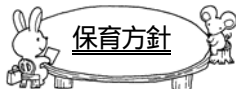
子供の日々の様子は連絡帳・口頭などでお知らせします。
行事案内・献立は毎月お便りを発行します。
クラスの様子はクラス便りで毎月お知らせします。
インターネットホームページでもお知らせしています。

保育の目標

健康な身体の子どもに
やさしく心豊かな子どもに
いきいきと遊ぶ子どもに
自分の考えを持ち、自分で感じたことを表現できる子どもに
自然に目を向け、自然を大切にする子どもに

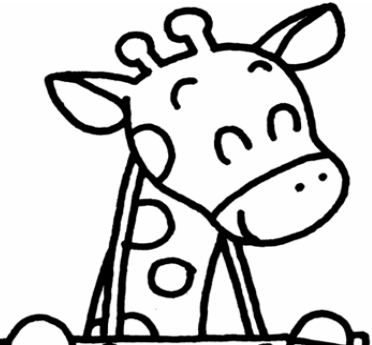
保育方針

保育士の温かい愛情に育まれて、子どもたちが安定した園生活をすごせるようにしています。また、子どもの自発的な活動を促し、豊かな遊びが体験できるように環境を整え、子どもたち一人一人の特性や発達段階に応じた保育を行います。



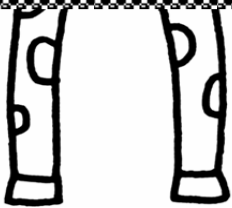
一日の過ごし方

	7:00	8:00	9:00	10:00	11:30	12:00	12:30	13:00	15:00	17:30	18:00~ 19:00
0~2 歳児	特例 延長 保育	順次 登園	室内 戸外 遊び	おやつ 遊び 散歩	食事		お昼寝		おやつ 遊び	特例 保育	延長保育 おやつ
3歳児 以上		朝の 視診	好きな 遊び	クラス別・年齢別 異年齢グループの 活動	食 事 準 備・片付け		お昼寝		おやつ 好きな 遊び	順 次 降 園	異年齢児 と遊ぶ

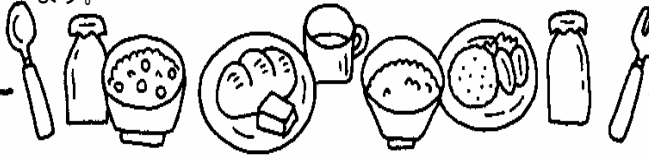


年間行事

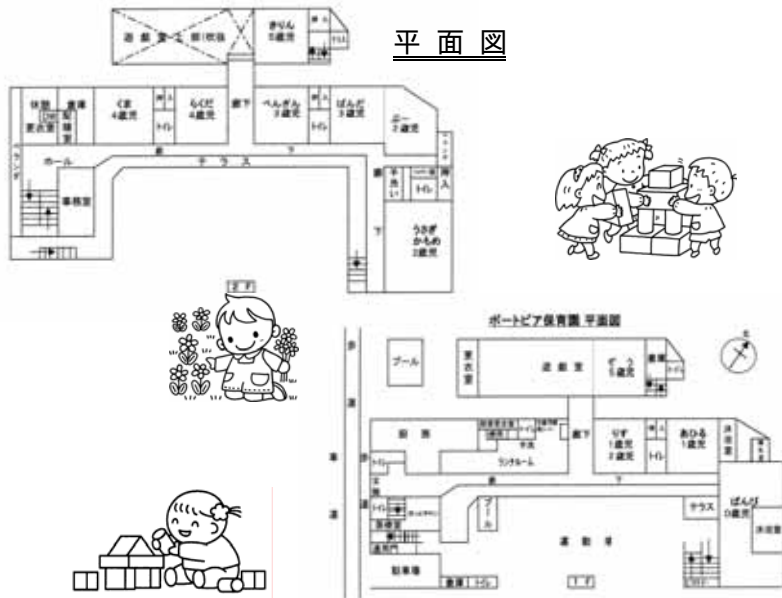
- 4月 入園式・進級の集い
- 5月 保育参加
- 6月 親子まつり
- 10月 運動会・遠足
- 12月 わくわく発表会
- 2月 絵画展
- 3月 遠足・卒園式
- 毎月 お誕生日会・身体計測
避難訓練



給食(昼食・おやつ) 毎日、保育園で調理します。
 安全な食材を選び、献立は家庭的な味わいを大切にしています。
 食物アレルギーの子どもへの的確な対応を実施しています。
 離乳食は月齢にあわせて提供しています。
 手作りおやつを週3回加えています。
 「楽しく食べる子どもに」を目指し、食育環境に工夫をこらして
 います。



平面図



園の特徴

- ・ 白亜のモダンな園舎には、バルコニーやテラスもあってゆとりいっぱいです。
- ・ 保育室は、床や壁・ロッカーや机・椅子なども木のぬくもりを大切にしています。
- ・ 床暖房で冬も寒さ知らず、素足で遊べます。夏は冷房のある涼しいお部屋で昼寝をします。
- ・ 園長保育を受ける子どもたちのためには、リビングルームを用意しアットホームに過ごしています。
- ・ クラス編成は年齢別で11クラスあります。スタッフも十分揃っています。
- ・ 園外に散歩に出かける保育を大切に、自然に触れたり歩いたりする機会を多く持っています。
- ・ 4・5歳児は外国の歌や遊びを知り異文化に触れるため、ラボ教育センターに講師を依頼し、「英語で遊ぼう」を週1回実施しています。(費用は不要)